

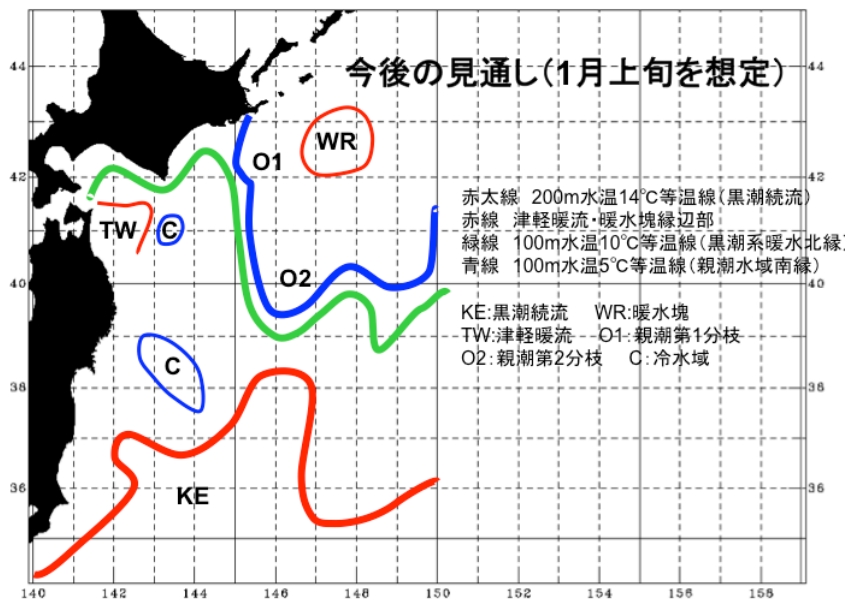


## 平成28年度 第4回 東北海区海況予報

— 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産研究・教育機構  
東北区水産研究所、北海道区水産研究所がとりまとめた結果 —

### 今後の見通し(平成28年12月下旬～平成29年1月)のポイント

- ・ 近海の黒潮統流の北限位置は極めて北偏で推移する。
- ・ 親潮第1分枝の張り出しはかなり北偏で推移する。
- ・ 金華山はるか沖の暖水塊は黒潮統流に取り込まれ、八戸沖の暖水塊は消滅する。
- ・ 根室沖の暖水塊は停滞する。



### 問い合わせ先

国立研究開発法人水産研究・教育機構 東北区水産研究所  
担当：業務推進部 藤井、山田  
資源環境部 市川、奥西  
電話：022-365-1191、ファックス：022-367-1250  
当資料のホームページ掲載先URL  
<http://abchan.fra.go.jp/>

## 平成28年度東北海区海況予報 第4号

### 《今後の見通し（2016年12月下旬～2017年1月）》

近海の黒潮統流の北限位置は極めて北偏で推移し、親潮第1分枝の張り出しはかなり北偏で推移する。金華山はるか沖の暖水塊は黒潮統流に取り込まれ、八戸沖の暖水塊は消滅、根室沖の暖水塊は停滞する。

### 《海況の経過（2016年9月～2016年11月）の特徴》

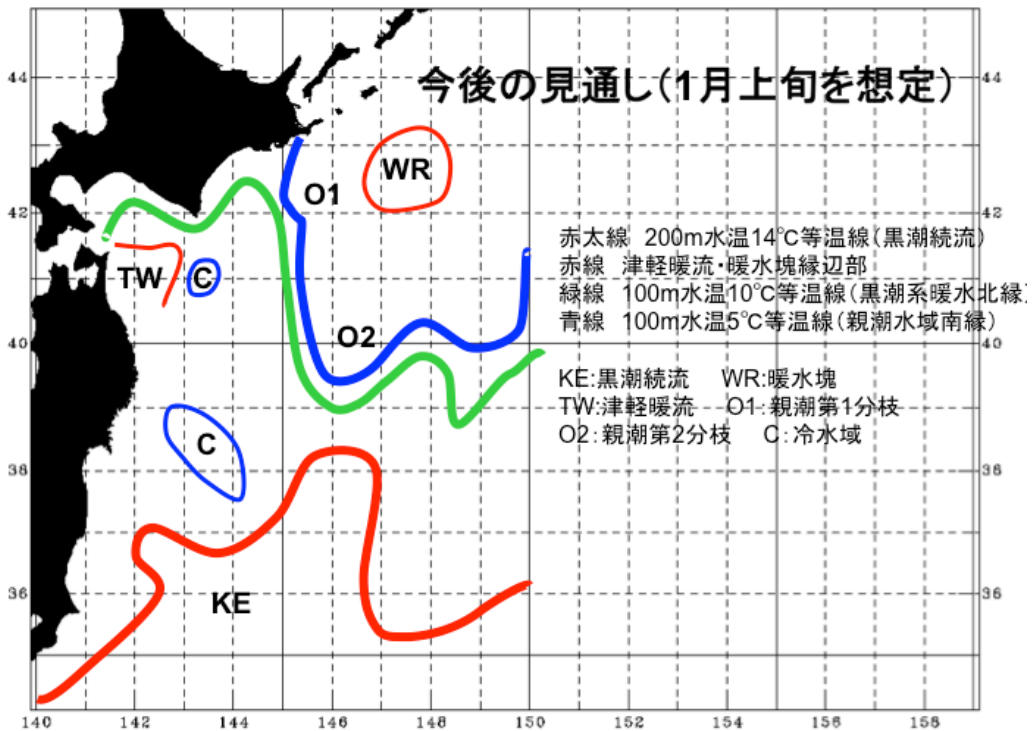
近海の黒潮統流の北限位置は平年並みで推移した。親潮第1分枝の張り出しは平年並み～やや北偏で推移した。金華山はるか沖の暖水塊は西方に、三陸沖の暖水塊は八戸沖に、釧路沖の暖水塊は根室沖東方に移動した。

### 《現況（2016年12月上旬）の特徴》

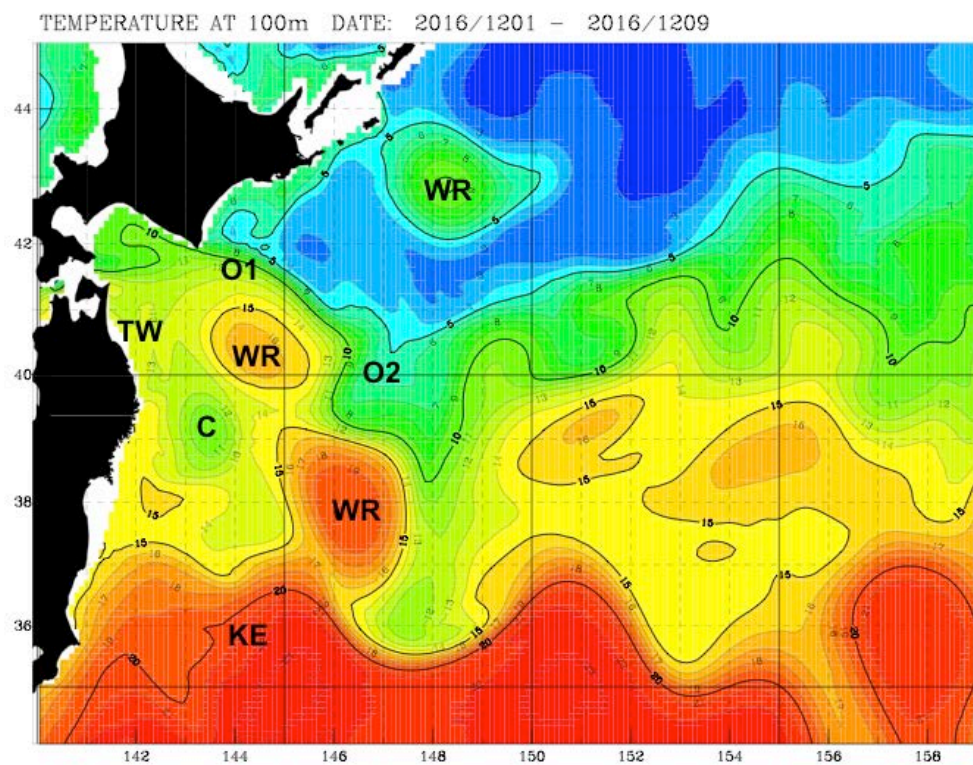
近海の黒潮統流の北限位置はやや北偏、親潮第1分枝の張り出しはやや北偏である。暖水塊が金華山はるか沖、八戸沖、根室沖にある。

（注）この海況予報は、国立研究開発法人水産研究・教育機構により開発され、2012年5月より運用を開始したFRA-ROMSシステムを用いた。FRA-ROMSは、我が国周辺太平洋域の海況経過を再解析し、2ヶ月先までの海況を予測する海況予測システムである。

1月上旬予測水温分布図



12月上旬現況水温分布図（100m深）



図中の記号はそれぞれO1が親潮第1分枝、O2が親潮第2分枝、KEが黒潮続流、TWが津軽暖流、WRが暖水塊、Cが冷水域を表している。

## 参 画 機 関

地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 北海道区水産研究所
岩手県水産技術センター	(取りまとめ機関)
宮城県水産技術総合センター	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 東北区水産研究所
福島県水産試験場	
茨城県水産試験場	